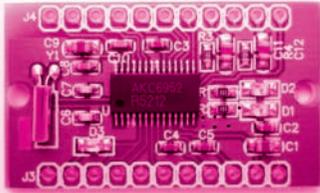


第3章 部品15個 2,000円! AM/FMをデジタル受信

20時間
連続動作



ギュッと回して一発チューン! ポケットDSPラジオ

小野寺 康幸 Yasuyuki Onodera

イントロダクション

1

2

3

4

5

6

7

8



(a) 外観



(b) 操作部

写真1 AM/FM放送対応!
アナログ回路の調整が不要な
お手軽ポケットDSPラジオ

本章では、DSPラジオ・チューナICを使ってAM/FM放送を無調整で受信できる写真1のお手軽ポケット・ラジオを紹介します。

- AM/FM放送を受信可能
- 製作後すぐに無調整で受信できる
- 受信周波数の安定性がよい
- アナログの部品点数が少なく経年変化が少ない
- 外部コントローラなしでDSPラジオを作れる

● ポケットDSPラジオの仕様

製作するDSPラジオの基板を写真2に、仕様を表1に示します。電池2本で駆動します。FMとAMの二つの受信バンドをスライド・スイッチで切り替えます。内部ジャンパでAMの代わりにTV1またはTV2のモードを割り当てられるようにしています。TV1と

表1 DSPラジオの仕様
受信できるTV1、TV2はアナログ・テレビ放送のため、日本国内ではあまり意味がない

項目	仕様
受信モード	FM 70 M ~ 93 MHz
	TV1 56.25 M ~ 91.75 MHz
	TV2 174.75 M ~ 222.25 MHz
	AM 522 k ~ 1620 kHz
電源	単4×2
消費電流	35 mA

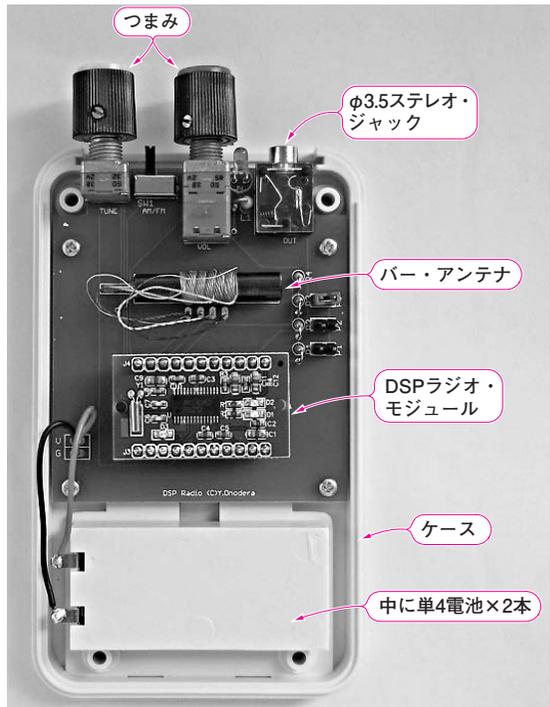


写真2 お手軽ポケットDSPラジオで使う部品はこの程度